

森づくり通信 No.62



2021年(令和3年) 12月 10日(金)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

920-1301 金沢市永安町77番地(金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



ゆず

夏に東京でオリンピックが開催されたことの記憶も遠ざかり、お盆過ぎにはコロナの影響で予定されていた児童クラブの出前講座や企業の森づくり活動が中止になりましたが、年末に向け感染者が激減少しは通常の活動も再開出来ました。変異株が出てきましたが何とか来年に向け落ち着くことを願っています。

来年こそは通常(普通)に森づくり活動ができる事を願って、皆様には今年1年お世話になりました。来年もよろしく願いいたします。

●年末年始のお知らせ●

金沢森づくりサポートバンク事務局の業務は、年末は**12月28日(火)**まで、年始は**1月4日(火)**からとなります。お問い合わせやご連絡の際は、よろしくお願い致します。

10月30日(土) 森の学校



東原町のきんしん東原の森を会場に、NPO 法人くくのちさん運営で盛り沢山の活動を用意して親子22名が里山での一日を存分に楽しみました。

東原町在住の森さんに里山の話や炭焼きについて話をしてもらい、木の実や木の葉などを空き缶で炭にするアート炭にチャレンジし、森の中へ散策に出かけました。

地元、きんしん、金沢市が協力して森を整備し植樹祭で植えた木もすくすく育ってきました。

最後はモルックゲームを行い盛り上がりました。

11月19日(金)内川小学校出前講座



内川小学校3~6年生の緑の少年団の活動として3,4年生はミニプランター、5,6年生はプランターカバー4台を金沢の森林を整備した時のスギの間伐材で作ることになりました。

プランターカバーは円柱材の半割部材を使うのでかなり高度な木工作業でしたが校務士さんや地元保護者の協力により、インパクトドライバーを使い完成しました。

ミニプランターは金づちで組み立て、シールや絵を描いて仕上げ、入れ物として使うようです。



森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

10月5日(火) 犀川小学校教室出前講座

犀川小学校では近くの里山をいたやの森と命名して5年生時に苗木を植栽し、6年生になったら草刈りなどの整備を行ってきました。しかし1昨年、昨年とコロナ禍の影響で活動を自粛していました。

今年は2年ぶりに森の活動を再開したいとの事で、森の活動の前段として学校体育館で5,6年生82名を対象として森についての話を行いました。

森の土がおいしい飲み水を作ってくれる事を理解してもらうための水質浄化実験も行いました。



10月14日(木) 小将町中学校学校林整備

小将町中学校は市内では数少ない学校林を所有しており、春に創立記念行事として広葉樹の植栽や草刈りなどの整備を全校をあげて行ってきました。

コロナ禍の影響で全校行事としては中止になりましたが、1年生だけでも学校林の整備にかかわれないかと校長先生の提案で、1年生80名が卯辰山の学校林まで学校から歩いて移動し班に分かれて草刈り作業を行いました。

有志を募り雑木の伐倒や玉切り作業を代表して行ってもらいました。



10月7日(土) 角間の里山草刈りプロジェクト

金沢大学山崎学長は、里山の草刈り保全活動は人間力鍛錬に資する活動だと提唱され、金大学生に参加を呼びかけ職員、NPO 角間里山みらいの各団体から総勢26名が金大角間の里に集合し、草刈り作業をひたすら行いました。

作業後は現場で記念写真を撮り、山崎学長は今秋改選されるとの事で、今までの活動写真の額を感謝状として贈呈し、お弁当とお茶をいただき終了しました。



10月21・22日(木・金) 犀川小学校出前講座

前回学校での森の出前講座に続き10/21は5年生44名、10/22は6年生38名を先輩たちが植栽、草刈り整備を行ってきたいやの森を案内しました。

森の散策をしながら木の根っこが土を強くつかんでいる事を実感してもらうため、細い柴木を何人かで引っ張ってもらいましたが引っっこ抜けない体験やノコギリで雑木の立木を伐倒し玉切りする体験などを行ってもらいました。

森が近くにある環境の学校でも森に入ったことがない児童が多く、自然体験が益々遠ざかっていると感じました。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

10月24日(日) アルプの森づくり

金沢大学キャンパス内の里山アジチ谷地内アルプの森に、アルプ薬局社員と家族、金大薬学系先生と学生21名が参加し、シャクヤク畑の整備と家族での参加者はメインでサツマイモ掘りを行いました。

シャクヤクは金大薬学系の先生の指導の下、平成26年に苗を植草刈りや肥料やりなどで育て漢方薬になる根っこもかなり大きく育って来たようです。

サツマイモ掘りの収穫作業は子供たちに大好評で、掘れる度に歓声が上がっていました。



11月3日(水祝) ツエーゲン金沢SDGsイベント

ツエーゲン金沢のホームゲームに合わせ、ツエーゲン金沢SDGsマッチワークショップと銘打ち、産業展示館2号館多目的室において、缶バッジ制作、タオルテッシュカバー作りのグループと共にスギ丸太のネームプレート作りを行いました。

場所がメイン通路から見えない所だったので、各チームとも呼び込み人員を配置し参加者を募りました。

小さい子供も一緒にノコギリで丸太を切る体験もできたので少しはSDGsかな？



11月2日(火) 押野小学校出前講座

押野小学校特別支援学級児童16名を対象に森の出前講座を開催しました。

最初に簡単な森の話をしてから、林野庁近畿中国森林管理局の矢放さんが作成した「もくざいのヒミツ」をパワーポイントで上映して、木工作をする前に木材について知ってもらいました。

鉛筆立てにも使えるマルチスタンドの材料キットを組み立て、絵付けをしたりリンドグリを取り付けるなどの飾りつけをして完成させました。



11月7日(日) みんなの畑の会イベント

四十万みんなの畑の会では前日竹林のボランティア整備活動を行い、今日は地域の皆さんに集まってもらい伐った竹を利用して竹灯籠や竹細工を作り、地域の交流と資源の有効活用を意図して四十万中央公園でイベントを行いました。

私たちは花器や食器、貯金箱などの竹細工を担当し、ヤマダッケンさんは竹灯籠の制作指導を行いました。

また、畑で育てたサツマイモや採ってきたギンナンを炭火で焼き、参加者に振舞い味わってもらいました。



金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」と検索してみてください。

会員、団体様の森づくり活動の様子や当協会が運営する森づくりイベントの募集などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどできるサイトとなっています。

サイト内には年4回発行の森づくり通信の創刊号から最新号まで閲覧できるようになっており、皆さんの懐かしい写真や直近の活動の写真もありますので、ぜひご覧になってください。



伐木等業務(チェーンソー)特別教育について

チェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されます。

森づくり活動を行う団体会員の中で何人かは講習を受けておくと、より高度な作業を行えるようになるのでお勧めです。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っていますので、希望される方はこの機会に受講して下さい。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)です。

● 伐木等業務特別教育

● 【日時】令和4年 1月12(水)～14(金)

※お問い合わせ・お申し込みは、**12月24日(金)**までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※**必ず金沢森づくりサポートバンクにお申込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)**

編集後記

「杉」

スギと書くより杉と表記した方が樹形がイメージ出来て良いと思うのと、とても役立つ木なのに今では花粉が舞い上がるテレビ映像などで、すっかり悪者扱いされイメージが悪くなっていますが、出前講座などでパワーポイントの資料で説明したり木工では必ずと言っていいほどの材料は杉です。

教科書的に書いたら呼び名のスギは真っ直ぐの直ぐ、(上に)進む木でスギ、他にもヒマラヤスギやレバノンスギなどスギとつく木はありますがスギ科ではなくマツ科だそうです。

したがって杉の学名はクリプトメリア・ジャポニカと言いつラテン語で日本の隠された財産という意味です。杉は日本固有種1属1種で、神社などでしめ縄を張りご神木としても崇められています。

縄文の昔から利用され現代でも建築材はいうに及ばず、樹皮は塀や屋根材として使われ、葉っぱはお線香の材料として利用され、木全体が利用できる優れた木です。個人的には日本の国木として登録してほしいぐらいです。

また、樹木一般に言えることですが寿命が長く、特にスギは屋久杉に代表されるように3000年以上もの樹齢を誇り、屋久島自体は世界遺産に認定もされていますね。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

